



スキャンオート 取扱説明書

- Mac、Mac OS、および OS X は、Apple Inc. の商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、スキャンオート（以降、「本アプリケーション」と呼びます）に含まれる各機能の操作方法、および使用上の注意事項について記載しています。本機能のご使用にあたっては、必ず本書をお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターや、複合機の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

お使いのパーソナルコンピューターの基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューターに付属の説明書をお読みください。お使いの複合機の操作方法については、複合機に同梱されているマニュアルをご覧ください。

富士ゼロックス株式会社

本書の使い方

本書の構成

本書は、次の構成になっています。

1 動作環境

「スキャンオート」の動作環境について説明しています。

2 環境設定

「スキャンオート」を使用するために必要な環境設定について説明しています。

3 スキャンオートについて

「スキャンオート」の基本的な操作方法や機能、管理者設定などについて説明しています。

4 設定情報のエクスポート / インポート

設定情報のエクスポート / インポートの概要について説明しています。

本書の表記

- 機械のソフトウェアのバージョンによって、本書に記載している画面が、お使いの機械と異なる場合があります。
- お使いの機械の構成によっては、画面に表示されない項目や使用できない機能があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。



注記

注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。



補足

補足事項を記述しています。



参照

参照先を記述しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」

- ・ 本書内にある参照先を表しています。
- ・ 機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。

『 』

- ・ 参照するマニュアルを表しています。

[]

- ・ 機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
- ・ コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。

{ }

- ・ 操作や動作環境によって変わる値を表しています。
例：[{ログインユーザー名}] が表示されます。

< > ボタン

- ・ 機械の操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。

< > キー

- ・ コンピューターのキーボード上のキーを表しています。

>

- ・機械の操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。
例：「[仕様設定 / 登録] > [登録 / 変更] > [ボックス登録] を選択します。」は、「[仕様設定 / 登録] を押して、[登録 / 変更] を押したあと、[ボックス登録] を選択します。」という手順を省略して記載したものです。
- ・コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。
例：「[スタート] > [検索] > [他のコンピュータ] で検索します。」は、「[スタート] ボタンをクリックして、[検索]、[他のコンピュータ] を順にクリックして検索します。」という手順を省略して記載したものです。
- ・参照先は、次のように表しています。
例：『管理者ガイド』の「5 仕様設定」>「共通設定」>「音の設定」を参照してください。」は、管理者ガイドの「5 章 仕様設定」内の、「共通設定」での「音の設定」を参照することを表しています。

もくじ

はじめに	3
本書の使い方	4
1 動作環境	7
複合機	7
2 環境設定	8
複合機の設定	8
〔設定〕画面で各項目を設定する	9
インストール	10
スキャンオートを利用するための環境設定	11
3 スキャンオートについて	12
スキャンする	12
スキャンを中止する	13
各画面について	13
複合機の操作パネルから管理者設定を設定する	16
CentreWare Internet Services を使用して管理者設定を設定する	17
設定できる項目	17
トラブル対処	20
注意 / 制限事項	22
4 設定情報のエクスポート / インポート	23
エクスポート / インポートの概要	23
複製できる設定情報	23

1 動作環境

スキャンオートをインストールする前に、対応機種や動作環境を確認し、複合機での設定をしておく必要があります。

複合機

スキャンオートは、次の環境で動作します。

お使いの複合機の環境が条件を満たしていない場合は、必要なオプションを増設してください。

- 内蔵ハードディスク搭載機
- システムメモリー 2 GB 以上搭載機
- プリンターキット搭載機
- スキャナーキット搭載機



補足

・ソリッドステートドライブを装着した複合機をお使いの場合、「ハードディスク」は、「ソリッドステートドライブ」と読み替えてください。

お使いの複合機が、内蔵ハードディスク、およびシステムメモリーの環境が条件を満たしているかを確認する手順は、次のとおりです。



補足

・本書で記載している画面は、お使いの機種によって異なることがあります。設定方法の詳細は、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

操作手順

- 1 [設定] > [機械確認 / レポート] を押します。
- 2 [機械構成] を押します。
- 3 [ストレージ] の項目が表示されていることと、[システムメモリーサイズ] の項目が 2,048 MB 以上であることを確認します。
- 4 ホーム画面に戻ります。

2 環境設定

お使いの複合機で、スキャンオートを利用するための環境を設定します。



補足

本機能を使用するには、次のどちらかが必要です。

- ・カスタムサービスと組み込みプラグイン機能を有効にする
- ・ソフトウェアオプションのパスワードを設定する

どちらの方法で設定するかは機種によって異なります。詳しい手順は『複合機のソフトウェアオプション設定ガイド』を参照してください。

複合機の設定

次の設定が必要です。

項目	設定内容	参照
SOAP- ポート	・ SOAP- ポート：起動 ・ SOAP- ポート番号：80	「SOAP ポート」 (P.9)
プロトコル設定	・ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で複合機を使用するための設定	「プロトコル設定」 (P.9)
Web ブラウザー設定	・ [外部アクセスバージョンの選択]：[V5] ・ [終了時のキャッシュ削除]：[しない] ・ [キャッシュの使用]：[する]	「Web ブラウザー設定」 (P.9)

なお、認証機能を利用する場合は、次のように設定されているか確認してください。

項目	設定内容	参照
認証方式の設定	・ [認証方式の設定]：[本体認証] または [外部認証] ・ ユーザーの登録	「認証方式の設定」 (P.10)
アクセス制御	・ [デバイスへのアクセス]：[制限する]	「アクセス制御」 (P.10)



注記

- ・ 認証モードが [外部認証] の場合、[認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定すると、スキャンオートでサービスの利用制限が適用されません。そのため、コピーやスキャンの利用を制限していても、スキャンオートは利用可能な状態となります。
- ・ 本機能は、[認証方式の設定] を [認証しない] に設定し、IC Card Gate (関連商品)、または IC カードリーダー (オプション) を接続している場合、IC カードの情報を利用できません。



補足

設定内容によっては、複合機の再起動が必要です。再起動を指示する画面が表示された場合は、再起動してください。



参照

各設定の詳細な手順については、複合機のマニュアルを参照してください。

【設定】画面で各項目を設定する

お使いの複合機で「設定」画面を表示する手順は次のとおりです。



補足

・本書で記載している画面は、お使いの機種によって異なることがあります。設定方法の詳細は、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

操作手順

- 1 機械管理者 ID（必要に応じてパスワード）を入力し、機械管理者モードになります。
- 2 「設定」を押します。
- 3 各項目を設定します。



補足

・設定値を反映するために再起動が必要な場合があります。再起動を促す画面が表示されたら、指示に従って再起動してください。

SOAP ポート

操作手順

- 1 「ネットワーク設定」>「ポート設定」>「SOAP」を選択します。
- 2 次の項目を設定します。
 - SOAP- ポート：起動
 - SOAP- ポート番号：80

プロトコル設定

操作手順

- 1 「ネットワーク設定」>「プロトコル設定」>「TCP/IP- ネットワーク設定」を選択します。
- 2 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で複合機を使用するための項目を設定します。

Web ブラウザー設定

操作手順

- 1 「アプリ設定」>「Web ブラウザー設定」を選択します。



補足

「Web ブラウザー設定」が表示されない場合は、ソフトウェアオプションのパスワード設定、またはカスタムサービスの有効化が必要です。

- 2 次の項目を設定します。
 - 外部アクセスバージョンの選択：V5
 - 終了時のキャッシュ削除：しない
 - キャッシュの使用：する

認証方式の設定

操作手順

- 1 [認証/集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証方式の設定]を選択します。
- 2 [本体認証] または [外部認証] を設定します。
- 3 本体認証の場合は、[認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択して、本機能を使用するユーザーを登録します。



補足

外部認証の場合は、ユーザー登録は必要ありません。

アクセス制御

操作手順

- 1 [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [アクセス制御]を選択します。
- 2 次の項目を設定します。
 - デバイスへのアクセス：制限する

インストール

スキャンオートをインストールします。

インストール手順については、『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』を参照してください。

インストールが終了したら、「スキャンオートを利用するための環境設定」(P.11)を参照して、必要な設定をしてください。



補足

バージョンアップ、またはアンインストールする場合も、『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』を参照してください。

CentreWare Internet Services を使用して管理者設定を設定する

CentreWare Internet Services を使用して管理者設定を設定する場合は、複合機追加型アプリケーション設定をインストールします。

インストール手順については、『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』を参照してください。

インストールが終了したら、「スキャンオートを利用するための環境設定」(P.11) 参照して、必要な設定をしてください。



補足

・バージョンアップ、またはアンインストールする場合も、『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』を参照してください。

スキャンオートを利用するための環境設定

スキャンオートを利用するために、次の設定をする必要があります。



参照

- ・各設定の詳細な手順については、複合機のマニュアルを参照してください。



補足

- ・Web ブラウザーで、JavaScript を有効にしてください。

HTTP 接続の設定

- [設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [インターネットサービス (HTTP)] > [インターネットサービス - ポート] を [起動] に設定する。

スキャナー（メール送信）の設定

- [設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [メール送信] > [メール送信 - ポート] を [起動] に設定する。
- [設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP- ネットワーク設定] で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で複合機を使用するための項目を設定する。
- [設定] > [ネットワーク設定] > [本体メールアドレス / ホスト名] で、本体メールアドレスやホスト名などを設定する。
- [設定] > [ネットワーク設定] > [その他の設定] > [メール受信プロトコル] を [SMTP]、または [POP3] に設定する。
- [設定] [ネットワーク設定] > [メール送受信設定] > [SMTP サーバー設定] で、SMTP サーバーの設定をする。
- 受信プロトコルが POP3 の場合は、[設定] > [ネットワーク設定] > [メール送受信設定] > [POP3 サーバー設定] で、POP3 サーバーの設定をする。

スキャナー（PC 保存）の設定

- コンピューター側でスキャンしたデータを保存する共有フォルダーを作成する。
- SMB プロトコルを使用する場合は、[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SMB クライアント] > [SMB クライアント - ポート] を [起動] に設定する。
- FTP プロトコルを使用する場合は、[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [FTP クライアント] > [FTP クライアント - ポート] を [起動] に設定する。



注記

- ・FTP サービスの設定方法は、OS 付属のマニュアルを参照してください。Mac OS X 10.7 Lion および OS X 10.8 Mountain Lion を利用する場合の FTP サービスの設定方法は、アップルジャパン社の公式ホームページを参照してください。
- [設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP- ネットワーク設定] で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で複合機を使用するための項目を設定する。

認証ユーザーのメールアドレスの設定

- 認証機能を利用している場合は、本機能を使用するユーザーを登録し、ユーザーのメールアドレスを設定する。

3 スキャンオートについて

「スキャンオート」とは、初めてスキャン機能を利用する方でも操作しやすい、原稿をセットして「送信」ボタン（一部の機種では、操作パネルの〈スタート〉ボタン）を押すだけでスキャンができる機能です。詳細の設定が不要で、自動的に原稿の向きや両面 / 片面、および両面 / 片面の混在などが検知されるので、デジタルカメラのフルオートモードのように簡単にスキャンできます。

スキャンデータは、PDF または DocuWorks ファイルとして、指定したメールアドレス（認証機能を利用している場合は、認証ユーザーのメールアドレス）宛てに送信できます。また、バージョン 1.7 以降ではスキャナー（PC 保存）機能でスキャンデータをコンピューターに保存できます。

ここでは、本機能に関する、次の項目について説明します。

スキャンする

「スキャンオート」の、基本的な操作の流れを説明します。

操作手順

1 複合機が認証モードで運用されているときは、認証情報を入力してログインします。



補足

・認証モード運用時でも、管理者の設定で未認証時の使用が許可されているときは、認証情報を入力しなくてもスキャンオートを使用できます。

2 「スキャンオート」を押します。

3 宛先を設定します。

メールアドレスを設定している認証ユーザーの場合、または管理者が送信先メールアドレスを固定で設定している場合は、自動的にメールアドレスが表示されます。

メールアドレスの表示エリアが空欄の場合は、次のいずれかの方法で入力します。

- 「宛先表」を押して表示される宛先表から選択します。

バージョン 1.7 以降では、「スキャナー（PC 保存）」の宛先を選択してコンピューターにスキャンしたデータを保存することもできます。

宛先の登録は、「登録 / 変更」から行ってください。

- （機種によっては ）を押して表示される履歴から選択します。

「スキャナー（PC 保存）」の宛先は履歴から選択できません。「宛先表」から選択してください。

- メールアドレスの表示エリアを押すと表示されるキーボードで、直接入力します。



補足

・メールアドレスの表示状態は、管理者の設定によって異なります。また、（機種によっては ）、および「宛先表」は、管理者の設定によっては表示されません。詳しくは、「送信先アドレスの初期値」（P.17）を参照してください。

4 必要に応じて、各項目を設定します。



参照

・各設定項目について、詳しくは「各画面について」（P.13）を参照してください。



補足

・初期値では、原稿を両面で読み込みます。
 ・カラーモードや解像度などは、「スキャン設定」画面での設定によって異なります。
 ・初期設定では、自動的に原稿の白紙を除去します。

5 画面に表示されているイラストに合わせて原稿をセットし、[送信]（一部の機種では、操作パネルの〈スタート〉ボタン）を押します。

認証ユーザーのメールアドレス、または指定したメールアドレス宛てに、メールが届きます。スキャンデータは、メールに添付されているか、またはメールに記載された URL をクリックすると取り出せます。

手順 3 で、[宛先表] から [スキャナー (PC 保存)] の宛先を選択した場合は、指定のアドレスにスキャンしたデータが保存されます。



参照

・原稿をセットする方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。



注記

・本機能の利用中は、ジョブの割り込みはできません。



補足

・スキャンデータは、管理者の設定により PDF、または DocuWorks ファイルとして取り出せます。

スキャンを中止する

スキャンを中止する手順について説明します。

操作手順

1 [ストップ] を押します。



補足

・一部の機種では、操作パネルの〈ストップ〉ボタンを押します。

2 [中止] を押します。

各画面について

ここでは、各画面で設定できる項目について説明します。

[スキャンオート] 画面

[スキャンオート] 画面で設定できる項目について説明します。



補足

・宛先の設定に関する項目については、「スキャンする」(P.12) の手順 3 を参照してください。

・ファイル名を設定することもできます。詳しくは、「[ファイル名] 画面」(P.14) を参照してください。

管理メニュー

画面下部の [その他] から [管理メニュー] を押すと、（一部の機種では、 ボタン）を押すと、管理者設定画面が表示されます。



参照

・管理者設定画面については、「複合機の操作パネルから管理者設定を設定する」(P.16) を参照してください。



補足

・このボタンは、管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。

スキャン設定

選択すると、[スキャン設定] 画面が表示されます。



参照

・[スキャン設定] 画面について、詳しくは「[スキャン設定] 画面」(P.14) を参照してください。

【スキャン設定】画面

【スキャン設定】画面では、画質やファイルサイズに合った設定を選択できます。

【おまかせ】、【おまかせ（ミックスサイズ原稿）】、【画質優先】、【サイズ優先】から選択します。



補足

- ・各設定の詳細を確認できます。詳しくは、「【スキャン設定】ボタンの情報」(P.20)を参照してください。
- ・バージョン 1.7 以降では、【白紙除去】の【する】、【しない】を選択できます。

【ファイル名】画面

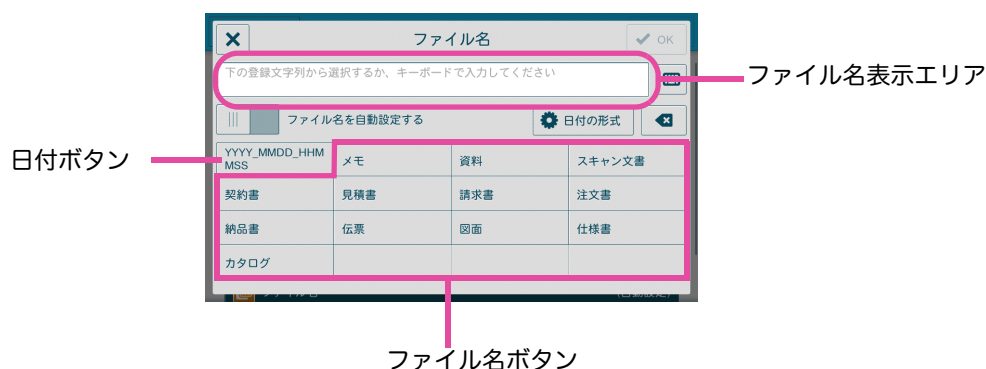
【スキャンオート】画面で【ファイル名】を選択すると、【ファイル名】画面が表示され、ファイル名を設定できます。



補足

- ・【ファイル名】を表示させるには、管理者の設定が必要です。詳しくは、「設定できる項目」(P.17)の「【ファイル名】ボタンの表示」を参照してください。

【ファイル名】画面では、スキャンデータのファイル名を入力したり、あらかじめ登録されているパターンから選択したりできます。



注記

- ・言語をタイ語、またはベトナム語に設定している場合、設定できません。



補足

- ・ファイル名は、全角 14 文字以内、半角 128 文字以内で入力できます。
- ・ファイル名ボタンとユーザー名ボタンなど、複数のボタンを押すことで、項目を組み合わせたファイル名を設定することもできます。その場合、項目と項目の間に自動で「_」が入ります。
- ・「¥」（半角）、「ー」（全角）、および「～」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

ファイル名表示エリア

設定したファイル名が表示されます。

ファイル名は、ファイル名表示エリアを押すと表示されるキーボードを使って直接入力する方法と、ファイル名ボタンやユーザー名ボタンを使って入力する方法があります。

ファイル名を自動設定する

チェックすると、自動でファイル名が「YYYY_MMDD_HHMMSS」に設定されます。



補足

- ・「YYYY_MMDD_HHMMSS」は、スキャン開始時の年月日時分秒です。

全削除

このボタンを押すと、ファイル名表示エリアの、すべての文字を削除します。

1 文字削除

このボタンを押すと、ファイル名表示エリアの最後の 1 文字を削除します。

ファイル名ボタン

各ボタンを押すと、ボタンの文字列がファイル名として設定されます。

ユーザー名ボタン

認証ユーザーが利用している場合、ユーザー名が表示されます。このボタンを押すと、ユーザー名がファイル名として設定されます。



補足

- ・認証機能を利用していない場合は、表示されません。

日付ボタン

日付が表示されます。このボタンを押すと、日付がファイル名として設定されます。



補足

- ・日付をファイル名として設定した場合、ファイル名表示エリアで、日付部分の文字列を一部削除するなどの変更をすると、日付として認識されない場合があります。

日付の形式

選択すると、[日付の形式] 画面が表示されます。



参照

- ・詳しくは、「[日付の形式] 画面」(P.15) を参照してください。

[日付の形式] 画面

[ファイル名] 画面の、日付ボタンに表示される日付の、形式を設定できます。

区切り文字

YYYY、MMDD、DDMM、HHMMSS の区切りを [(なし)]、[_]、[-]、[.]、[年月日] から選択します。

日付けの表示形式

日付の表示形式を選択します。



補足

- ・[区切り文字] で選択した項目が、[日付けの表示形式] の選択項目に反映されます。

複合機の操作パネルから管理者設定を設定する

機械管理者は、送信先アドレスの初期値や、ファイルの送付方法、文書の保存期間などを設定できます。



補足

- ・管理者権限のある認証ユーザーの場合は、[スキャンオート] 画面下部の [その他] から [管理メニュー] (一部の機種では、 ボタン) を押すと、管理者設定画面が表示され、同様の設定ができます。

操作手順

1 [ログイン] を押します。



補足

- ・一部の機種では、操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- ・パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

3 [スキャンオート] を押します。

4 画面下部の [その他] から [管理メニュー] (一部の機種では、 ボタン) を押します。

5 設定する項目を選択します。



補足

- ・ここでは、[ジョブ実行後の設定値の保持] を選択した例で説明します。

管理メニュー		✓ OK
送信先アドレスの初期値	設定しない	
送信履歴の削除		
メール送信時の送付方法	自動切り替え(添付/URL送信)	
URL送信時の文書保存期間(1-168時間)	24	— +
ジョブ実行後の設定値の保持	☐	
[ファイル名]ボタンの表示	☐	

6 任意の項目を選択します。

管理メニュー		✓ OK
送信先アドレスの初期値	設定しない	
送信履歴の削除		
メール送信時の送付方法	自動切り替え(添付/URL送信)	
URL送信時の文書保存期間(1-168時間)	24	— +
ジョブ実行後の設定値の保持	☒	
[ファイル名]ボタンの表示	☐	

7 [閉じる] を押します。

CentreWare Internet Services を使用して管理者設定を設定する

この操作をするには、機械管理者の権限が必要です。

操作手順

- 1 コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス欄に、お使いの複合機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、CentreWare Internet Services を起動します。
- 3 機械管理者 ID（必要に応じてパスワード）を入力し、機械管理者モードになります。
- 4 次の操作をします。
 - (1) [システム] > [プラグイン設定] を押します。
 - (2) [組み込みプラグイン] で [Settings for Add-on Application] を選択します。
 - (3) [表示] をクリックし、管理者設定画面を表示します。



補足

・本書で記載している画面は、お使いの機種によって異なることがあります。設定方法の詳細は、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

設定できる項目

ここでは、操作パネルを使って設定する場合を例に説明します。

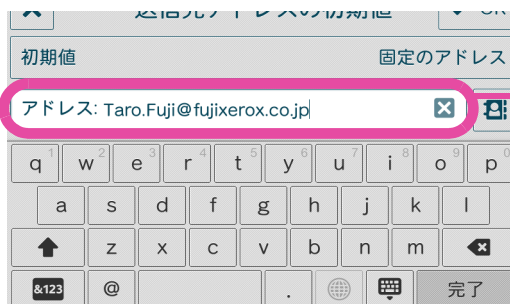
CentreWare Internet Services を使って設定する場合も、同様の項目を設定できます（一部を除く）。

送信先アドレスの初期値

選択すると [送信先アドレスの初期値] 画面が表示されます。

送信先アドレスの初期値を、[設定しない]、[固定のアドレス]、[認証ユーザーのアドレス] から選択します。

- 設定しない
アドレスの入力欄を空白にし、ユーザーが入力できるようにします。
また、[送信履歴の使用] を有効にするかどうかも設定します。
- 固定のアドレス
管理者が指定した送信先アドレスに固定し、ユーザーが変更できないように設定します。
アドレス入力エリアを押すと表示されるキーボードで、送信先アドレスを入力します。また、（一部の機種では、[宛先表から選択]）を押すと、宛先表を参照できます。



アドレス入力エリア



補足

・CentreWare Internet Services では、宛先表の参照はできません。

- 認証ユーザーのアドレス
認証機能を利用している場合、認証ユーザーのアドレスを自動的に取得するように設定します。
また、[アドレスの変更を許可]、および[送信履歴の使用を許可]を有効にするかどうかも設定します。



補足

- ・この機能は、認証機能を利用している場合のみ設定できます。
- ・一部の機種では、ボタン名が異なります。

送信履歴の削除

[はい (削除する)] を選択すると、宛先表にある履歴を、すべて削除します。

[いいえ] を選択すると、管理者設定画面に戻ります。



補足

- ・一部の機種では、ボタン名が異なります。

メール送信時のファイルの送付方法

メール送信時のファイルの送付方法を、[自動切り替え (添付 /URL 送信)]、[本体に一時保存 (URL 送信)] から選択します。

[自動切り替え (添付 /URL 送信)] を選択すると、スキャンデータのサイズによって、メールに添付するか、[本体に一時保存 (URL 送信)] の動作をするかが、自動的に切り替わります。

[本体に一時保存 (URL 送信)] を選択すると、スキャンデータを本体に一時保存し、宛先のメールアドレスに、取り出し用と削除用の URL が記載されたメールを送信します。

また、[自動切り替え (添付 /URL 送信)] を選択した場合、添付ファイルの上限サイズを設定します。

数値は、次の方法で入力できます。

- 数値入力ボックスを選択したあと、表示された数字ボタン、または操作パネルの〈数字〉ボタンを使って入力します。



補足

- ・入力を間違えた場合は [×] (一部の機種では [C]、または操作パネルの〈クリア (C)〉ボタン) を押して、入力し直します。入力後 [OK] を押すと、数字ボタンが非表示になります。

- [+], [-] を押して入力します。



注記

- ・ファイアウォールを使った環境では、[本体に一時保存 (URL 送信)] に設定してスキャンデータを送信した場合、外部のネットワークに接続されたコンピューターで、指定された URL からスキャンデータの閲覧、および取り出しができません。
その場合、[自動切り替え (添付 /URL 送信)] に設定すると、スキャンデータがメールに添付され、取得できますが、ネットワークの接続方法によっては、スキャンデータのセキュリティが保護されないことがあります。
なお、メール添付ができるのは、200 MB までです。[ファイル添付上限サイズ] は、200 MB に設定してください。

URL 送信時の文書の保存期間

本体に、一時的に保存される文書の保存期間を、1 時間単位で、1～168 時間の間で設定できます。

数値は、数値入力ボックスを選択したあと、表示された数字ボタン、または操作パネルの〈数字〉ボタンを使って入力します。



補足

- ・入力を間違えた場合は [×] (一部の機種では [C]、または操作パネルの〈クリア (C)〉ボタン) を押して、入力し直します。入力後 [OK] を押すと、数字ボタンが非表示になります。

ジョブ実行後の設定値の保持

- 〔する〕を選択すると、ジョブ終了後も、前回のスキャンオートでの設定を、保持します。
- 〔しない〕を選択すると、ジョブ終了後、スキャンオートの初期状態の画面に戻ります。

〔ファイル名〕 ボタンの表示

- 〔スキャンオート〕画面に、〔ファイル名〕ボタンを表示させるかどうかを設定します。
- 〔しない〕に設定すると、ファイル名は自動設定となります。

ファイル名の定型文字列

- 〔ファイル名〕画面のファイル名ボタンに表示する定型文字列を変更できます。
- よく使うファイル名を登録しておく、スキャン時にワンタッチで設定できて便利です。
- 文字列を変更するファイル名のボタンを選択し、表示されたキーボードを使って、文字列を入力します。〔OK〕（一部の機種では、〔決定〕）を押すと、文字列が変更されます。



注記

- ・言語をタイ語、またはベトナム語に設定している場合、設定できません。



補足

- ・初期値として、12種類のファイル名が登録されています。
- ・ファイル名として登録できるのは、全角で7文字までです。最大文字数を超過して入力した場合は、超えた部分を削除して登録されます。
- ・「¥」（半角）、「ー」（全角）、および「～」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

〔スキャン設定〕 ボタンの初期値

- 〔スキャンオート〕画面の〔スキャン設定〕の初期値を設定します。
- 〔おまかせ〕、〔おまかせ（ミックスサイズ原稿）〕、〔画質優先〕、〔サイズ優先〕から選択します。

自動正立

- 〔する〕を選択すると、原稿をセットした向きや片面原稿、両面原稿に関わらず、自動で正立した状態にスキャンできます。
- 〔しない〕を選択すると、〔原稿セット向き指定〕、および〔両面原稿送り〕の設定に従ってスキャンされます。



注記

- ・原稿によっては、正立した状態にスキャンできないことがあります。



補足

- ・〔する〕に設定した場合、〔原稿セット向き指定〕、および〔両面原稿送り〕の設定は無効です。
- ・この機能については、「注意 / 制限事項」(P.22) を、併せてご確認ください。

原稿セット向き指定

- 〔読める向き〕、〔左向き〕から選択します。



補足

- ・〔自動正立〕を〔しない〕に設定している場合に、ここでの設定が有効になります。

両面原稿送り

- 〔片面〕、〔両面（左右開き）〕、〔両面（上下開き）〕から選択します。



補足

- ・〔自動正立〕を〔しない〕に設定している場合に、ここでの設定が有効になります。

出力ファイル形式

- 〔PDF〕、または〔DocuWorks〕を選択します。

傾き補正

〔傾き補正〕の初期値を設定します。

傾き補正をする場合はチェックを付けます。しない場合はチェックを外します。



補足

- 一部の機種では、〔する〕〔しない〕を選択します。

未認証時の使用を許可

複合機を認証モードで運用しているときに、認証情報を入力しなくてもスキャンオートの設定ができるように設定できます。未認証時の使用を許可する場合はチェックを付けます。許可しない場合はチェックを外します。



注記

- この機能は、一部の機種ではサポートしていません。



補足

〔未認証時の使用を許可〕は、複合機が以下の条件をすべて満たすときに設定できます。

- 認証モードが〔本体認証〕、〔外部認証〕、または〔カスタム認証〕のどれか
- 〔認証 / セキュリティ設定〕 > 〔認証の設定〕 > 〔アクセス制御〕で、次の項目がどちらも〔制限しない〕になっている
 - 〔サービスへのアクセス〕 > 〔スキャナー（ボックス保存）〕
 - 〔機能の使用制限〕 > 〔ボックスからの外部取り出し〕

〔スキャン設定〕ボタンの情報

選択すると〔スキャン設定〕ボタンの情報画面が表示されます。

左上のボタンを押して〔おまかせ〕、〔おまかせ（ミックスサイズ原稿）〕、〔画質優先〕、または〔サイズ優先〕を選択すると、それぞれの設定の詳細を確認できます。



補足

- 各ボタンには、〔白紙除去〕、〔圧縮方式〕など、原稿を自動で判別する機能が設定されています。「注意 / 制限事項」(P.22)を、併せてご確認ください。
- 〔傾き補正〕は機械管理者の設定が採用されます。
- この機能は、操作パネルを使った場合のみ表示されます。

トラブル対処

「スキャンオート」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
この機能は使用できません。	このメッセージは、何らかの理由で「スキャンオート」が使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、何らかの理由でスキャンが開始できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

また、認証機能を利用している場合、さらに次のようなトラブルが発生することがあります。表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
メールアドレスが取得できませんでした。 この機能を使用するには、認証時にメールアドレスが取得できる必要があります。	このメッセージは、管理者設定で[送信先アドレスの初期値]を[認証ユーザーのアドレス]に設定し、かつ認証ユーザーのメールアドレスが取得できない場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録]画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認]を選択し、ユーザーの[メールアドレス]で、メールアドレスを設定してください。
あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、スキャンの使用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録]画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認]を選択し、ユーザーの[サービスの利用制限]で、[スキャナー]の制限を解除してください。
スタートできません。 あなたが使用したスキャンの累積ページ数は上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ユーザーのスキャンの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、次のいずれかの対応をしてください。 ・ [仕様設定 / 登録]画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認]を選択し、ユーザーの[累積ページ数のリセット]で、累積ページ数をリセットする ・ [仕様設定 / 登録]画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認]を選択し、ユーザーの[サービスの利用制限]で、上限ページ数を増やす
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、次のいずれかの場合に表示されます。 1. スキャンの使用を禁止されたユーザーが[送信]（一部の機種では操作パネルの〈スタート〉ボタン）を押した 2. 認証ユーザーとして登録されていない 1の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録]画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認]を選択し、ユーザーの[サービスの利用制限]で、[スキャナー]の制限を解除してください。 2の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録]画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認]で登録してください。

コンテンツ情報の確認

お問い合わせ時に、本機能のコンテンツ情報が必要な場合があります。次の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

操作手順

- 1 画面下部の[その他]から[バージョン]、または画面下部の[バージョン]を押します。



補足

・一部の機種では、「スキャンオート」の利用中に、操作パネルの〈ポーズ(-)〉ボタンを5秒以上押します。

- 2 コンテンツ情報を確認します。
- 3 [閉じる]を押します。

注意 / 制限事項

「スキャンオート」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 本機能は、DocuLyzer（別売）や CoinKit（別売）などの機器を接続している場合の動作は保証しません。
- 追加型アプリケーションである「スキャンオート」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。
- [自動正立] は、お使いの複合機で設定している言語をもとに、原稿の文字を自動で判別します。適切な言語に設定してください。
- [自動正立]、[白紙除去]、および [圧縮方式] は、原稿を自動で判別します。そのため、原稿によってはスキャン結果が異なることがあります。
- スキャンした原稿が片面原稿で、白紙除去をしない場合、原稿の向きと、自動正立として認識された向きが 90° ずれてしまい、PDF や DocuWorks 文書に変換したときに横向きと縦向きの白紙が交互に並んでしまうことがあります。向きを揃えるときは、原稿の向きを 90° 変えてスキャンしてください。
- 言語をタイ語、またはベトナム語に設定している場合、ファイル名は設定できません。

認証機能を利用している場合の注意 / 制限事項

認証機能を利用している場合は、さらに次のような注意制限事項があります。

- 本機能は、お使いの複合機に IC Card Gate（関連商品）、または IC カードリーダー（オプション）を接続している場合も利用できます。
- 認証モードが [外部認証] の場合、[認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、スキャンの利用を制限していても、「スキャンオート」が利用可能な状態となります。
- 認証しないモードでかんたんメニューを表示しているときに、機械管理者でログインした場合は、メニューが更新されません。更新する場合には、リセットボタンを押してください。

4 設定情報のエクスポート / インポート

エクスポート / インポートの概要

「複合機追加型アプリケーション設定複製」を利用すると、本パッケージの各機能の設定情報をコンピューターに保存したり、ほかの複合機に複製したりできます。

設定をコンピューターに保存することを「エクスポート」、保存した設定を複合機に複製することを「インポート」と呼びます。

「複合機追加型アプリケーション設定複製」は、弊社の公式サイトからダウンロードできます。複合機にインストールして使用します。

「複合機追加型アプリケーション設定複製」のインストールについては『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』、操作方法については、『複合機追加型アプリケーション設定複製取扱説明書』を参照してください。



補足

- 機種によっては、「カスタム UI パッケージ / スキャンオート設定複製」により設定情報のエクスポート / インポートができます。

複製できる設定情報

エクスポート / インポートで複製できる設定情報は、次のとおりです。

- スキャンオート

管理者設定



補足

- スキャンオート 1.x では設定情報を複製できません。スキャンオート 2.x 以降にアップデートすると、設定情報を複製できます。

スキャンオート 取扱説明書

著作者 富士ゼロックス株式会社
発行者 富士ゼロックス株式会社

発行年月 2020 年 5 月 第 1 版

(管理 No. ME7576J1-7)